



「フィオレラ」2歳から、というか今でも家では絶対にスペイン語で話さないと怒られるんです。日本語はしゃべっちゃダメってよく言われました。家ではスペイン語で、外や幼稚園では日本語とポルトガル語でした。

勉強もスペイン語で教えてもらってました。通信制のテストがペルーから送られてきていましたので。小さい頃は辛かったですね。小学校に入ってから他のみんなは学校が終わった後に遊びに行ったりするんですけど、私たちは家に帰ったらずっとスペイン語の勉強を教えてもらって、あまり遊ぶ時間がなかった。姉と二人でスペイン語をやっていました。

「マリエラ」スペイン語の歌とかラテン的な考え方も教えましたね。日本とペルー、両方の国の考え方を分かっていたら、大人になったときにいろんなことができますから。がんばらなかつたら何もできないですからね。娘たちは日本で生まれたので、日本の

学校に入った方がいいと思っていました。日本とペルーの両方の文化や言葉が入ることはラッキーですね。大人になったとき、ラテンの考えと日本の考えの両方を理解出来ますから。ラテン式の考え方は家で教えました。夜は、寝る前にスペイン語で書かれた物語などの本を読みました。感想もスペイン語で言わせて。大変な思いをさせてかわいそうだったけれど、今はいい思い出と思う(笑)。空手も習いました。スイミングとか絵を描くのも。ペルーのダンスのマリエラも。

「マリエラ」いつも話されている日本語じゃないですか？難しいですね。ただ日本の考え方も理解できました。例えば、グループでイベントをするとき、どのようにやるかとか。日本は少し細かく決めますね。ペルーでは日本みたいに細かく決めません。例えば、困ったことがあると、日本のグループだったら、上の人に判断をおおぎますね。それでオーケーだったらやる。日本の考えでは上から下への指示が大切ですね。でも、ラテンの場合はとにかくまずやってみる。それで問題ない、解決しましたと上の人に言う。あと、日本はグループ分けをよくしますが、ラテンでは、グループ分けをすることもありますが、皆、一緒にやります。みんなで決めてやってみる、という形です。

「マリエラ」いつも話されている日本語じゃないですか？難しいですね。ただ日本の考え方も理解できました。例えば、グループでイベントをするとき、どのようにやるかとか。日本は少し細かく決めますね。ペルーでは日本みたいに細かく決めません。例えば、困ったことがあると、日本のグループだったら、上の人に判断をおおぎますね。それでオーケーだったらやる。日本の考えでは上から下への指示が大切ですね。でも、ラテンの場合はとにかくまずやってみる。それで問題ない、解決しましたと上の人に言う。あと、日本はグループ分けをよくしますが、ラテンでは、グループ分けをすることもありますが、皆、一緒にやります。みんなで決めてやってみる、という形です。

「マリエラ」いつも話されている日本語じゃないですか？難しいですね。ただ日本の考え方も理解できました。例えば、グループでイベントをするとき、どのようにやるかとか。日本は少し細かく決めますね。ペルーでは日本みたいに細かく決めません。例えば、困ったことがあると、日本のグループだったら、上の人に判断をおおぎますね。それでオーケーだったらやる。日本の考えでは上から下への指示が大切ですね。でも、ラテンの場合はとにかくまずやってみる。それで問題ない、解決しましたと上の人に言う。あと、日本はグループ分けをよくしますが、ラテンでは、グループ分けをすることもありますが、皆、一緒にやります。みんなで決めてやってみる、という形です。

日本の文化とペルーの文化が違って

学校に入った方がいいと思っていました。日本とペルーの両方の文化や言葉が入ることはラッキーですね。大人になったとき、ラテンの考えと日本の考えの両方を理解出来ますから。ラテン式の考え方は家で教えました。夜は、寝る前にスペイン語で書かれた物語などの本を読みました。感想もスペイン語で言わせて。大変な思いをさせてかわいそうだったけれど、今はいい思い出と思う(笑)。空手も習いました。スイミングとか絵を描くのも。ペルーのダンスのマリエラも。

「スペイン語の勉強は大変だったと思います。やっぱりやっていたら良かったと思うのはどういふときですか？」

「フィオレラ」周りのペルー人の友達を見てみると、スペイン語がうまく話せていないと思うことがあります。やっぱり家で日本語と混ぜて話しているのかなと思う。私たちは小学校の頃から、友達のお母さんにスペイン語うまいねって言われていたので、うれしかったです。

それから、ペルーでは小学校の算数などが日本より少し進んでいるんです。1、2年くらい。小学校に通っているときには家でスペイン語で習っていたので、これ知ってるって思っていました。

「家でマリエラさんが教えていたのは、スペイン語だけではなく、算数や理科、社会など全部なんですか？」

「フィオレラ」全部です。内容は、日本とは少しは違っていました。算数や理科は似ていました。社会は少し違うんです。やっぱり文化や社会が違うので。ペ

「マリエラ」昔はいろいろな問題がありました。例えば、PTAの会議で、ある日本人のお母さんが、パーティーが怖いと言ったことがありました。それを聞いて、二人のブラジル人が怒ったのね。「何で怖いの？普通のパーティーなのに」って。

「それはその日本人のお母さんが外国人に対してなにか差別しているみたいなおもてなしを感じたことですか？」

「マリエラ」そう、差別みたいなものを感じました。パーティーの内容を聞いたら日本人のパーティーより盛り上がるから怖い

ルールの歴史は勉強しましたね。中学2年生になると、急遽ペルーに1回行って向こうの学校に転入したんです。でも、勉強していたおかげで、全然問題なかった。日系人の学校だったので、周りの人が自分と一緒に日本語とスペイン語が話せる人なので安心しました。授業はスペイン語でしたが日本語の授業もありました。向こうには1年いました。

「マリエラ」子供たちが小さいときは、教えるのが大変でしたね。最初はできないと思いましたが、やっぱり、母親から娘に教えるのは難しい。他の人だったらうまくいくけど、何回やっても、できないってストレスになっていました。

でも、子供たちが家の中でも学校でも日本語だけで話したら、何か問題があるときに私には理解できないと思っていました。私は日本語があまりできないし、日本の考え方もわからない。だからがんばるしかない。夜、何回も泣きましたね。「できない、どうしよう」って。でも「がんばれ、マリエラ」と自分を励ましていました。ある日、上の娘が初めてスペイン語で「ママ」と書いたときは、すごくうれしかった。それからもう何でもできると思えました。今もまだ、二人とも勉強していますね。

「マリエラ」ないですね。あつてもわからないですから(笑)。歩いていると「マリエラ」って声かけられたり、お店でも「マリエラ元気？」って。

「どうしたら日本人のお母さんと外国人のお母さんが、マリエラさんのようにうまく交流できるかと思いませんか？」

「マリエラ」日本人はちょっと恥ずかしいが、自分からは話しかけないですね。でも、ラテンの人たちはバス停などでもいつでも誰とでも話します。そういうラテンのやり方をPTAのイベントで見られたから、私はうまく交流できるようになったんじゃないかと思っています。

「日本人も仲間外れにするつもりはないけどわざわざ話しかけることもしないから、外国人が1人でポツンという感じになっちゃう。それに日本人はグループがあるから話しかけてこないって相談を受けたことがあります。」

「マリエラ」それはありますね。学校でも見たことがあります。日本人同士でもグループに入れないことはあるんじゃないですか？同じ言葉話すのに、なんで友達が出来ないの？と思ったことがあります。私のスペイン語の生徒さんはほとんど日本人ですが、よく「マリエラ友達いる？」って聞かれます。「もちろんたたくさんいますよ。あなたにも友達いるよね？」って聞くと、「いない〜」って言うんです。えー、なんで？自分の国なのに、と思いますね。それは寂しい。日本にずっと住んで外国の人とコミュニケーション



小学校のPTAのイベントとして行ったペルー・ブラジル・メキシコ・日本の誕生日会

「マリエラ」娘たちは2人とも、小学校の6年間、同じ学校でした。私は友人のブラジル人から勧められて2年生からPTAをやりました。日本語があまり話せなかったから、「どうしよう、どうしよう」って怖かった。だけど、日本の文化と日本人の考えを覚えるチャンスだし、娘が2人いるからがんばろうって、7年くらい続けてやりました。



小学校のPTAのイベントとして行ったペルーとブラジルの料理交流会

「マリエラ」ないですね。あつてもわからないですから(笑)。歩いていると「マリエラ」って声かけられたり、お店でも「マリエラ元気？」って。